

南区自治協議会（第 9 期）を振り返って

南区自治協議会会長 高橋 直廣

1 はじめに

第 9 期の南区自治協議会は、30 名中 14 名が新しい顔ぶれとなりスタートしました。そのうち女性委員は 13 名で割合が 43.3%となったことも、大きな特徴です。女性の意見を地域課題解決のための議論に取り入れることができました。

南区では、関係課や区自治協議会が特色ある区づくり事業として、多様な取組を行ってきました。3つの部会では、それぞれ知恵と工夫を出し合い、地域課題の解決に向けて取り組みました。令和 6 年度は 3 部会合同での事業も実施しました。また、地域団体の取り組む活動を支援する「南区まちづくり活動サポート事業」には、様々な団体から事業の提案があり、区の活性化に向けた事業を実施し、成果をあげていただきました。令和 6 年度は応募団体が減少したことが残念でしたが、来期は多くの団体からの提案を期待したいところです。

令和 6 年 1 月の能登半島地震により、西区を中心に大きな被害がありました。8 区の自治協議会も防災をテーマに研修会を行ったり、初期対応に関する広聴会に参加したりするなど、行政任せではない自助、公助、共助のあり方について議論を深めました。このほか、南区区ビジョンまちづくり計画、部活動の地域展開などについても議論をしてまいりました。

行政だけでは、多様な市民課題を解決することは、困難となってきております。南区自治協議会は、市民や市民団体との協働を、より一層推進していかなければならないと考えております。

2 取組内容・成果・課題

(1) 全体会について

ア 会議運営方法の見直し

これまで議事や報告案件がないときは、全体会を休会としていましたが、委員からの報告や意見交換の場として開催してほしいとの意見があったことから、案件がなくても全体会を開催することとしました。また、会議を活性化させるため、フリートークの時間を設け、地域課題について意見交換を行いました。

前期に引き続き、スムーズな会議運営ができるよう、全体会終了後に毎回、会長・副会長の 2 役と事務局で振り返りの会議を行い、次回以降の会議に活かしました。

イ 「部活動の地域展開」についての協議

「部活動の地域展開」について、令和 4 年にスポーツ庁・文化庁からガイドラインが公表され、新潟市でも中学校の部活動改革が進められています。これまで中学校主体で行われてきた部活動が地域クラブ活動に移行するにあたり、南区ではどのようなことが課題なのか、教育の分野を所管する第 2 部会を中心に協議・検討を重ね、令和 7 年 2 月に市長及び教育長へ「南区における中学生のための部活動と地域クラブに関する建議書」を提出しました。

ウ 南区自治協議会委員研修会の開催

令和 5 年度は、「SDGs de 地方創生カードゲーム」という体験参加型の研修を行いました。住民、事業者、行政それぞれの立場や役割を理解し、区自治協議会の活動に活かせる知識を学びました。

令和 6 年度は、委員間の活発な意見交換を目的に、委員が感じている直近の地域課題について、テーマを募集し意見交換を 2 回行いました。

(2) 部会・提案事業について

ア 第 1 部会

第 1 部会は、公共交通、防犯・防災、環境、建設、都市計画などの分野を所管します。

第 9 期は「防災意識啓発事業」と「しあわせなまち・きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業」に取り組みました。

「防災意識啓発事業」は、日頃からの防災意識を高めるため、第 3 部会が企画した「南区味わい市場」に防災ブースを出展しました。防災に関するクイズやアンケートを実施し、防災食をプレゼントするなど、多くの人に防災意識を高めてもらうことができました。

「しあわせなまち・きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業」は、区民の美化意識の醸成を目的に、南区民や南区で活動する団体が参加する清掃活動を南区全体で実施しました。

また、北陸信越運輸局から講師を招き、「全国における自家用有償運送の成功事例について」講演をしていただいたり、「南区公共交通ガイド」のパンフレットを作成し、区バスなどの周知を行いました。

イ 第2部会

第2部会は、健康・医療、福祉、教育、地域、男女共同参画などの分野を所管します。

第9期は「南区家族ふれ愛事業」と「夏休みの宿題サポート事業」に取り組みました。

「南区家族ふれ愛事業」では、家族のつながりを大切にし、温かい家庭をつくることを目的として、11月を「南区家族ふれ愛月間」と定め、南区内の小学4年生による絵画展、中学1年生による川柳・標語展を行いました。令和6年度は、展示に加え特別企画として「ケチャップ・マヨネーズ」による参加型のファミリーコンサートを開催しました。

「夏休みの宿題サポート事業」は、子育て家庭の負担軽減と世代間交流の場の創出を目的に、夏休みに小学生が学習する場を設け、地域人材とともに見守りを行いました。こどもたちが集中して学習を行うことができ、家庭支援の一助となりました。

また、教育委員会学校支援課から講師を招き、「部活動の地域展開について」勉強会を開催しました。

ウ 第3部会

第3部会は、産業、観光、文化・スポーツなどの分野を所管します。

第9期は「南区おいしいもの満載お宝探訪事業」と「産業・伝統・味覚南区3セットツアー」に取り組みました。

「南区おいしいもの満載お宝探訪事業」は、南区の食の魅力発信とまちなかの賑わい創出のため、「南区味わい市場」を六斎市に隣接した左工門小路で開催しました。令和6年度は3つの部会がブースを出展し、初めて合同で事業を実施しました。

「産業・伝統・味覚南区3セットツアー」は、南区の魅力発信と交流人口の拡大を目的に、南区の企業や文化施設への見学、旬な農産物などを楽しむ日帰りバスツアーを実施しました。ツアー参加者からは「また南区を訪りたい」という感想もあり、南区の魅力を発信できました。

エ 広報部会

広報部会は、広報に関することを所管します。

第9期は「南区自治協議会だより」を各年度3回、計6回発行しました。

区自治協議会や部会の活動、まちづくり活動サポート事業の取組などを紹介し、区自治協議会をより身近に感じてもらえる紙面づくりに努めました。

オ まちづくり活動サポート事業

南区の活性化を目的に、提案事業の一部を区内の地域活動団体などから募集し、区自治協議会が選定・採択して協働実施する「南区まちづくり活動サポート事業」は、令和5年度は7事業、令和6年度は4事業を採択しました。

令和6年度の事業募集からは、対象経費・非対象経費の例示を記載するなど、応募団体に分かりやすいよう募集要項を改正しましたが、応募団体の減少という課題が残りました。令和7年度に向けて、事業実施の参考とするため過去の応募団体にアンケートを実施し、応募団体が増えるよう努めました。

※提案事業の具体的な成果・課題等については、添付の事業評価書を参照ください。

3 おわりに

今期を振り返り、30名の委員で区の地域課題について、全体会や3つの部会で真剣に議論を重ねてきました。女性委員の割合が増えたことにより、女性の意見も議論に取り入れることができたと考えています。

令和6年1月に発生した能登半島地震により見えてきた課題や問題点、部活動地域展開に伴う南区が持つ課題など、先行きが不明瞭で解決が困難な課題もありますが、委員一人ひとりが真摯に向き合ってきたことが、一定の成果だと感じています。

第10期では、新しい体制の中で地域と行政の協働の要として、南区がよりよい地域になるよう、活発に活動されていくことを期待します。

令和6年3月21日

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第1部会

区分	内容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>◆きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業 ◆防災関連イベント事業 【事業費予算 1,000千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>◆南区民や南区で活動する団体を対象に、清掃意識やモラル向上に繋げることを目的に、強化月間を設けて南区全体で清掃活動を実施する。 ◆日頃防災意識が希薄な人々の防災意識を高めることを目的に、多くの方が来場するイベントに出展し、防災食の試食や防災クイズ等を実施する。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)</p>	<p>◆きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業 ○南区の各種団体による清掃活動の実施 ■日時: 令和5年10月1日(日)～10月31日(火) ■参加団体28団体、申込人数2,175人 ※雨天により2団体が中止 ■南区内の清掃活動の実施 ・区HPやX、区だより以外にも小・中・高校、商工会、地域生活センター、出張所等にチラシを配布し広報を行った。</p> <p>◆防災関連イベント事業 ○第3部会主催イベント「南区味わい市場」における防災ブースの出展 防災食の試食品や防災食レシピの配布、防災クイズの実施。新潟防災ナビアプリ、新潟市防災メールの登録方法の案内。 ■日時: 令和5年10月14日(土) 午前9時から正午 ■会場: 左工門小路 ■参加人数: 派遣防災士 4人 自治協第一部会委員 8人 ■防災ブース来場者(のべ人数): アンケート回答者 90人、試食 288人、防災クイズ184人、メールおよびアプリ登録者37人</p>
<p>事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</p>	<p>◆きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業 【評価】 ・例年清掃活動を実施している自治会だけでなく、企業や学校、任意団体など様々な団体から申込みがあった。区民の清掃・美化意識を高めるために一定の効果があった。</p> <p>【課題及び今後の取組】 ・企業に足を運び事業の趣旨を説明できると、より多くの企業の参加につながるのではないか。 ・年間スケジュールの関係から学校行事とするには課題が多いが、子どものうちから美化意識を啓発するために、子どもたちからも可能な範囲で参加してもらいたい。 ・表彰やポイント制を取り入れると、興味を持ってもらえるためPRもしやすくなるのではないか。</p> <p>◆防災関連イベント事業 【評価】 ・第3部会と一緒に事業を実施したことで、協力体制が生まれ相乗効果があった。多くの方が防災ブースを訪れ盛況だった。 ・防災ブースの準備をすることで、委員自身が防災に対する知識を深めることができた。 ・「防災アプリ」や「新潟市防災メール」を登録していった人が予想よりも多かった。「登録したくてもやり方が分からなかった」「やろうと思っていたが、登録するきっかけがなかった」人たちのニーズをつかむことができた。</p> <p>【課題及び今後の取組】 ・今回はクイズやアプリ登録など広く「防災」をテーマにしたが、テーマを絞ることも一つの方法。 ・防災士会への依頼期間を長めにとり、より広く南区防災士会からの協力を得られるようにしたい。</p>
<p>備考</p>	

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第2部会

区分	内容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>◆南区家族ふれ愛事業 ◆夏休みの宿題サポート事業 【事業費予算 1,000千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>◆南区家族ふれ愛事業の12年目として、児童・生徒の絵画・川柳展を行い、「家族ふれ愛月間」のさらなる定着を図る。 ◆夏休みに子どもたちの学習サポートを行い、子育て家庭の負担軽減を図るとともに、地域の人材を活かし、世代間交流の場とする。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)</p>	<p>◆南区家族ふれ愛事業 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展の開催 ■日時: 令和5年11月1日(水)～11月23日(木・祝) ■会場: 白根学習館1、2階 交流広場 絵画展/標語・川柳展 展示総数: 648点 ・(絵画) 南区内小学校4年生の児童331人から出品があった。 ・(標語・川柳) 南区内中学校1年生の生徒317人から出品があった。 ※地区文化祭、地域生活センターで絵画・川柳展示 展示箇所: 庄瀬、小林、臼井、大通地区</p> <p>◆夏休みの宿題サポート事業 ○「みんなで宿題! 3days～ハッピー夏休み♪～」の開催 ■日時: 令和5年7月24日(月)～26日(水) 午前9時30分から10時30分 ■会場: 白根児童センター 参加者: 児童 延51人(24日:15人 25日:16人 26日:13人) ボランティア 延13人(24日:4人 25日:3人 26日:3人) ・小学生を対象に各日20人、保護者や子育てサークルからボランティアを募集し実施。学習終了後にはお楽しみのくじ引きも行った。</p>
<p>事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</p>	<p>◆南区家族ふれ愛事業 【評価】 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展 ・多数の出品があり、恒例の事業として学校側にも定着してきている。 ・展示が1階、2階に分かれたため、全て見るのは難しかった。 ・委員の考えたオリジナルな賞名はアンケートからも好評だった。 ・アンケートの回答数が14人と少なかった。観覧者数の把握ができない。</p> <p>【課題及び今後の取組】 ・学校と連携した事業という面ではよいが、作成がスケジュール的に厳しく、締切までの提出が難しいという学校もあり、依頼方法の見直しが必要である。 ・子どもたちの家庭の状況は様々であり、テーマに「家族」という言葉を引き続き使用するか検討する。 ・学習館で一同に作品を展示することにこだわらず、各地域での展示や、さらに展示以外の取組みも含めて再考する。</p> <p>◆夏休みの宿題サポート事業 【評価】 ・子どもたちが集中して学習を行うことができ、夏休み生活のリズム作り、家庭支援の一助となった。保護者からはもっとやってほしいという声もあった。 ・参加者募集や申込み受付など、会場となった白根児童センターの協力のもと実施することができた。</p> <p>【課題及び今後の取組】 ・今回は白根児童センターのみで実施したが、他の地域でも実施を検討していく。 ・ボランティアスタッフとして、どのようなサポートの仕方がよいか戸惑いがあった。方針を決め、事前にスタッフが共通認識を持ったうえで参加してもらう。 ・今回の反省点を活かして当日の運営方法などを見直し、より子どもたちにとって有意義な会となるようブラッシュアップしていく。</p>
<p>備考</p>	

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第3部会

区 分	内 容
テーマ・事業名	<p>◆南区おいしいもの満載お宝探訪事業 【事業費予算 1,000千円】</p> <p>◆産業・伝統・味覚 南区3セットツアー事業</p>
事業目的・概要	<p>◆南区おいしいもの満載お宝探訪事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区の農産物や特産品などがならぶ「南区味わい市場」を、白根露店市場と同時開催し、南区の味覚と六歳市の魅力を広くPRする。また、まち歩きも併せて行うことで、南区白根の歴史や魅力を再認識してもらう。 <p>◆産業・伝統・味覚 南区3セットツアー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区の企業の見学や文化施設への訪問、さらには南区の農産物を使用した割烹でのお昼ごはんや農産物の食べ歩きなど、区の資源を生かしたツアーを企画し魅力を発信する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>◆南区おいしいもの満載お宝探訪事業</p> <p>日時: 令和5年10月14日(土) 午前9時～正午 場所: 白根左工門小路(南区内) 来場者: 960人(推計) 出展ブース数: 14団体 推計売上総額: 466,000円(アンケート結果より)</p> <p>◆産業・伝統・味覚 南区3セットツアー事業</p> <p>日時: 令和5年11月20日(月)、11月21日(火) 2日間 9時30分～15時30分 場所: 新潟駅～満徳寺～JA新潟かがやき～割烹金長～ 中村観光果樹園～アグリパーク～新潟駅 参加者数: 50名(内訳: 20日25名、21日25名)</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>◆南区おいしいもの満載お宝探訪事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「南区味わい市場」を白根の六歳市と隣接開催したことで、まちなかの賑わいと地域の魅力を再認識する機会を創出することが出来た。 ・今年度は初の試みとして、他の部会や産業振興課とも連携して取り組み、第一部会による防災ブースの出展や、ゆるキャラ「レルヒさん」を会場に呼ぶなど、催しを充実させることが出来た。 ・味わい市場の商品を500円以上購入でガチャ(カプセルトイ)が回せる企画を出店者から協力を得て実施し、約520名の方がガチャを行うなど来場者からは好評であり、ガチャを回すために再度買物をするなど、購買意欲の向上にも寄与した。 ・昨年に続き、しろね大風タウンガイドと協働して取り組んだまち歩きは参加者からの評価が高かった。 ・慢性的な駐車場不足や、味わい市場の来場者を六歳市に誘導できるが課題となったことから、次回開催では駐車場不足の解消と六歳市とのコラボ企画、さらなる集客に向けたセレモニーなど、盛り上げる方策を検討していく。 <p>◆産業・伝統・味覚 南区3セットツアー事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間のツアーでは行くことのない南区の名所(満徳寺など)を盛り込み、企画したことから、申込数が20日に72人、21日が59人と関心が高く、アンケート結果も好評であったことから南区の魅力を発信出来た。また申込多数となったことは、参加費が5,000円と安価だったことが考えられるため、来年度は市場価格を踏まえた上で料金の検討を行う。 ・果物の魅力発信やツアーにおける自治協議会委員の関わり方が不足していたことから、来年度の開催では、果物が豊富な時期での開催やバスツアーの訪問先の交渉やツアー当日に委員に役割を持たせるなど検討を行っていく。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会(全体会)

区分	内容
テーマ・事業名	南区まちづくり活動サポート事業【事業費予算 2,500千円】
事業目的・概要	地域活動団体や企業と連携を図り、多様な資源や新たな視点によるアイデアを活用して、より効果的な協働による事業展開を図るため、南区区ビジョンまちづくり計画に掲げるさまざまな地域課題の解決につながる取り組みを、1事業につき50万円以内(過去に本事業で実施したことのある場合は30万円以内)で募集して事業委託する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>本事業は9団体から応募があり、令和5年4月26日(水)に書類選考による一次審査、令和5年5月19日(金)にプレゼンテーションによる二次審査を経て、7団体を採択した。各団体における事業実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆『困ったときはお互い様』ひろがれ人の和・地域の輪【大郷地区コミュニティ協議会】 地域住民同士が広く顔のみえる(わかる)関係となり、できるだけ多くの人と顔見知りになることを目的に、大鷲小学校児童と地域が協力して、敬老会での演劇や地域食堂を企画・実施することで世代間交流を行った。 ◆地域で守るふるさとの景色と収穫祭【新飯田コミュニティ協議会】 「新飯田有願の里 おどまつり収穫祭」を新飯田公園ふれあいパーク有願の里公園で令和5年10月21日(土)に開催。小中学生と地域農家が協力して、新飯田地域で収穫された果物や野菜の販売会を実施したほか、ペットボトルライトによるイルミネーション飾り付けを行い、地域の子どもたちと大人の交流の場となった。 ◆あじかた食の歴史ロマン隊【味方地区コミュニティ協議会】 小、中学生が地元の食材や食文化の魅力について理解を深めることを目的に、野菜の栽培や収穫、新メニューの考案など体験的学習を実施した。小学校ではねぎや大根を使ったお弁当、中学校では地域の代表的な食材「れんこん」をメインとしたオリジナルの「れんこんパスタ」を完成させ、オリジナルメニューのチラシや冊子を作成した。 ◆茨曾根マルシェinサマーフェスティバル2023【コミュニティ茨曾根】 多世代交流を目的に、地域の方が自分達で考えて出店し参加する「茨曾根マルシェinサマーフェスティバル2023」を令和5年8月19日(土)に開催。 イベント準備から小学生に参加してもらい、イベント当日には販売ブースの店長を勤めてもらい、地域の人と交流を深めるイベントとすることが出来た。 ◆食育を通した「第3の居場所」の提供と「地域のつながりづくり」【大通子ども食堂運営委員会】 「食」を通して、身近に信頼できる大人がいることを地域の子どもたちに知ってもらう目的で子ども食堂を立ち上げ、令和5年8月から令和6年2月までに7回開催した。延べ参加人数は子ども 146人、大人 82人、ボランティア 105人と多様な家族の参加があり、子育て支援の一助とすることが出来た。 ◆温故知新 ～愛するまち庄瀬【庄瀬地域コミュニティ協議会】 地域の商業が賑わいを見せ、活気に満ち溢れていた頃の庄瀬を若い世代に語り継ぐための資料を残すことを目的に、冊子「温故知新～愛するまち庄瀬」を作成した。小学校の授業の一環として子どもたちが地域の高齢者へ取材を行うことで多世代交流の機会となるなど地域で協力して、作り上げることが出来た。 ◆地域ポータルサイト「(仮称)南区ナビ」の制作【秋は南区！フェスタ実行委員会】 南区のイベント情報や飲食店など、地域情報を広く扱うポータルサイト「みなみナビ」を立ち上げ、サイトの運営を開始した。
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>○ 採択されたそれぞれの団体が、地域の魅力を最大限に発信し、南区の活性化につながる個性あふれる事業を展開していた。</p> <p>○ 区内外のさまざまな地域活動団体や企業が事業の取組みを自治協議会で発表することで、自治協議会委員に事業実施にかかるノウハウや企画に関する新しい視点を共有することができた。</p>

※ 令和6年度 南区事業評価書は令和7年3月中に確定